

全でのストライキ・バリケードの中から 28,29日全学連大会に総結集せよ

安保粉碎・日帝打倒／沖縄奪還・大学闘争勝利

七〇年闘争をかけた

四・二八全国ゼネストを 激発する全国大学闘争を 四・二八へ大合流させよ

全学連委員長 金山 克己

全その革命的学友諸君！
この間、東大、日大、京大を先頭として、非妥協的永続闘争として闘い抜かれてきた全国大学、学園闘争は、全国一五〇万の学生が、七〇年闘争を目前にして、無限のエネルギーを秘めて反帝国主義の闘いに総決起している姿を示して余りある。全ての闘いは日本帝国主義と死力を尽して闘い抜くことによって初めてまりひらかれてきた。今後の闘いは、より一層日本帝国主義との全面的対決をしいられるであろうことは明白である。高校生の卒業式紛争闘争の全国的爆発をも生みだしている全国大学、学園闘争の激発は帝国主義の大学政策を根本的に破綻させ、七〇年危機を迎えんとしている日本帝国主義支配体制全体を揺るがしているからである。だからこそ、帝国主義にとって学内秩序の維持こそ、帝国主義体制全体の維持を意味しているのだ。

闘いの巨大さに恐怖した日本帝国主義は、その階級支配の暴力的本質を露わにした徹底した暴力的弾圧政策を開始すると同時に、その既成事実の上にならって、一連の警察國家的弾圧をイデオロギイ的、政治的に粉砕し、全ての闘いを圧殺し露骨な大学への帝国主義による直接支配を意図する中教審管甲、反動立法の攻撃をかけてきている。こうした攻撃は、七〇年を前にした予防的区革命であり、日本帝国主義の基本路線である。しかしこうした事態は、全大学の闘いをますます安保粉碎・日本帝国主義打倒の永続的闘争へと発展させる客体的条件を与えている。こうした情勢の中でわれわれは一切の困難に打ち勝ち全国大学、学園闘争を徹底化させ、四・二八沖縄奪還闘争との大合流をもちとり、巨大な攻撃と攻撃を開始せねばならない。

一方、大学政策の全面的破綻を集中的表現として危機を露呈している日本帝国主義は、沖縄県民を先頭にする日本列島をゆさぶる沖縄奪還闘争の爆発を前に重大なる危機に立たされている。

何故なら、佐藤をして「沖縄返還に政治生命をかける」とまで言わせている日本帝国主義の沖縄政策の全面的破綻がこの上なく明らかにならんとしているからだ。アメリカ帝国主義の北極停止一パリ会談なる欺まんの政策は解放民族戦線の断固たる攻撃によってコナゴナに打ち砕かれており、ベトナムにおける米帝の軍事的敗北を決定的に促進させている。こうしたベトナム情勢の発展は、日米同盟の反動的強化を必然化させ、その中軸たる「沖縄」の位置をますますたかめている。だがこうした事態は「沖縄の早期返還を要求する」などという欺まんの政策をたす余裕を日帝に対して全く失わせている。R2常駐化、総合防衛布令という新たな攻撃はこうした情勢を背景にした日米両帝国主義の非妥協的攻撃としてあったのである。

だがこうした攻撃は日帝の沖縄政策の欺まん性を満天下に示し、沖縄県民にとどまらず本土人民をもまきこみ七〇年闘争の突破口として沖縄奪還闘争を日本列島をゆさぶる大闘争としてその爆発を準備させている。そのことは挫折したとはいえず二・四ゼネストという沖縄県民の闘いの歴史的な高揚、そして四・二八に向けての本土労働者階級、学生、人民の闘いの巨大な胎動の開始としてあらわれている。

こうしたとき四・二八闘争こそ安保粉碎・日帝打倒の旗を高くかかげ、沖縄闘争と全国大学学園闘争の大合流した大闘争として準備されねばならない。そしてこの四・二八闘争の革命的爆発は七〇年安保闘争を現に始動させるものとなるであろう。

たとえれば、四・二八闘争を前にして開催される全学連大会の任務は明白であろう。われわれは今こそ四・二八闘争の革命的爆発と七〇年安保闘争の巨大な渦つくりだすべく戦闘態勢を完璧に確立せねばならない。四・二八闘争が日本帝国主義との全面的対決の闘いであればあるほど全学連の鉄の武装と革命的路線の獲得が絶対不可欠となっている。全ての革命的闘争は、全てわが全学連が断固たる決断を行うことによつてのみありえたのであつた。四・二八闘争の一切は、全学連大会の圧倒的成功の中に秘められている。

長期にわたり英雄的闘争を担つてきた、そして四・二八闘争の中心部隊となるであろう全国の革命的学友諸君！また新たに戦線に参加せんとしている新入生諸君！三月全学連大会へ、全てのストライキ・バリケードの中から総結集せよ！そして四・二八への進軍を開始しよう！

全学連臨時全国大会

日時 三月二十八、二十九日 午前十時

場所 法政大学五二二番教室 (電機棟五階)

闘う全学連・第七集

〈68年12月臨時大会報告決定集〉

絶賛発売中！

二八〇円